

総合教育会議資料

令和4年 11 月 11 日(金)

取組項目	確かな学力・体力を身に付けた子どもの育成 総合的な学力向上事業 ～次代に活躍する人材 の育成～	所管課	指導室
------	-------------------------------------------------------	-----	-----

取組内容及び進捗状況

【令和4年度全国学力・学習状況調査】

小学校において、全国の平均正答率との比較で、国語と算数の平均が、過去最高値となり、国語は都道府県7位の自治体と、算数は9位の自治体と同水準の結果となった。中学校は、国語で全国平均との差を縮めることができたが、数学に課題があった。

【現状】

- 校長が作成した「学力向上グランドデザイン」をもとに、全ての教員が自らの授業を自己評価し、授業改善の重点的な取組をまとめた「授業充実プラン」の作成と授業改善に向けた取組の実施
- 小学校における学習指導補助員の活用による手厚い指導の実施
- 中学校における自学自習シートの活用、及び学習指導員を活用した定期考査前自習ウィークの実施

令和5年度の取組予定等

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともに、ICTの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進める。また、ICTを活用した教員の指導力向上や、PDCAサイクルに基づいた授業改善の取組をより推進する。さらに、小学校の学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めていく。

社会のグローバル化によって、語学力やコミュニケーション能力のある人材を育成することが、学校教育においてより一層求められている。「英語によるコミュニケーション能力」の育成を計画的に行うことによって、これからのグローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成する。

- 今年度から取り組んでいる、小学校体験型英語学習及び中学生海外交流の継続
- ALT との交流を小学校1年生から実施
- 英語のスピーキング力を高めるために中学校3年生に対し、体験型英語学習施設「TOKYO GLOBAL GATEWAY」のプログラムを実施

事業費（令和5年度）：168,776千円

主な内訳①80,249千円（外国人英語指導補助業務委託）

②57,284千円（英語体験プログラム実施費用（小・中学校））

③14,512千円（中学生英語検定受験料助成）

④ 9,655千円（中学生海外交流費用）

⑤ 7,076千円（イングリッシュキャンプ業務委託等）

総合教育会議資料

令和4年11月11日(金)

取組項目	確かな学力・体力を身に付けた子どもの育成 総合的な学力向上事業 ～次代に活躍する人材 の育成～【ICT】	所管課	指導室 学校教育 推進担当課
------	------------------------------------------------------------	-----	----------------------

取組内容及び進捗状況

- プログラミング学習のほか、インターネットを活用した調べ学習、意見集約機能のアプリケーションを用いたグループ発表等の協働学習等、タブレット端末の活用
- デジタルドリルを用いた反復学習、宿題として調理の様子を写真で撮影する等、自学自習の学びの道具としてのタブレット端末活用
- ICT支援員による教員のニーズに応じた研修等の実施、及び授業観察実施後の指導主事等からの指導・助言

令和5年度の取組予定等

- タブレット端末を活用した中学生の自学自習を推進するために、放課後等に動画教材を活用して授業内容の理解を図る学習環境を整える。今後、全国学力・学習状況調査等の結果を分析したうえで、学年や教科について具体的に検討する。
- 情報モラルを児童・生徒に指導できるよう、教員への研修を実施する。
- ICT機器の使用や活用について教員の指導力を高めるため、引き続きICT支援員を配備する。

事業費（令和5年度）：1,836,679千円

主な内訳① 650,631千円

（学校教育総合システム保守運用委託（ICT支援員含む）

② 2,739千円（情報モラル教育支援委託）

総合教育会議資料

令和4年11月11日(金)

取組項目	確かな学力・体力を身に付けた子どもの育成 水泳指導の充実	所管課	指導室 学校教育 推進担当課
------	---------------------------------	-----	----------------------

取組内容及び進捗状況

学校の水泳指導を計画的に行うことなどを目的に策定した「今後の水泳指導の実施方法に関する指針」に基づき、令和4年度は、試行等を含め12校で屋内温水プールを活用した水泳指導を実施している。

実際に学校外の屋内温水プールを活用し、複数のインストラクターが指導補助に加わる中での水泳指導や更衣室などの施設、移動時間などを確認し、児童・生徒にアンケート調査を実施し、水泳指導の充実を図っている。

【屋内温水プール実施校】(令和4年度)

道上小学校、水元小学校、奥戸小学校、白鳥小学校、南奥戸小学校、東綾瀬小学校、飯塚小学校、細田小学校、四ツ木中学校、二上小学校、よつぎ小学校、西小菅小学校

令和5年度の取組予定等

- 令和5年度は、10校程度の移行を検討している。
- 区の東西に新たな屋内温水プールを2か所整備し、区の南北にある学校の移動距離等の最適化を検討していく必要がある。

事業費(令和5年度): 855,000千円

内訳①720,000千円(土地購入費)

②85,000千円(委託費(インストラクター等))

③50,000千円(バス借上料)

総合教育会議資料

令和4年 11月 11日(金)

取組項目	一人ひとりを大切にする教育の推進 不登校対策プロジェクト	所管課	学 校 教 育 支 援 担 当 課
------	---------------------------------	-----	----------------------

取組内容及び進捗状況	
1	<p>適応指導教室（ふれあいスクール明石）の運営 心理的な要因等により登校できない状況にある児童・生徒に対する自発的な学習や体験的な学習の場を提供するとともに、心理専門員による一人一人の状況に応じた支援を行う。</p>
2	<p>訪問型学校復帰支援 教員経験者と心理専門員が定期的に学校を訪問し、不登校及びその傾向にある児童・生徒一人一人の状況に応じた支援策を学校と協議し、学校は家庭と連携し、児童生徒の将来に向けた社会的自立を支援する。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 1学期ごとに全校を訪問 </p>
3	<p>校内適応教室の設置 登校できるものの教室に入ることができない児童・生徒を支援するため、不登校児童・生徒の多い学校から支援員を配置した教室を計画的に設置する。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 小学校1校、中学校9校、合計10校に設置 （設置校）幸田小、中川中、金町中、葛美中、上平井中、奥戸中、一之台中、青葉中、新宿中、大道中 ▶ 令和4年10月末時点で、小学生3人、中学生105人が利用している。 ▶ 令和5年に中学校2校（亀有中、桜道中）に設置予定 </p>
4	<p>不登校対策プロジェクト検討委員会の開催 本区の不登校対策の推進に向けた取組や支援に関して必要な検討や検証を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 第1回 令和4年 7月 29日（水）開催 ▶ 第2回 令和4年 12月開催予定 </p>

令和5年度の取組予定等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○校内適応教室設置校における成果の検証および新規設置に向けた準備 ○学校における不登校対策のための体制整備と研修の充実 ○「(仮称)葛飾区不登校児童・生徒支援スタンダード」を策定中
<p>事業費（令和5年度）： 59,009千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 52,242千円（学校支援指導員等雇上費） ② 5,067千円（校内適応教室整備等経費） ③ 1,700千円（適応指導教室運営経費） 	

総合教育会議資料

令和4年 11 月 11 日(金)

取組項目	一人ひとりを大切にする教育の推進 日本語指導の充実	所管課	学 校 教 育 支 援 担 当 課
-------------	------------------------------	------------	----------------------

取組内容及び進捗状況

来日直後等で日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を、初期指導に専門性を有する事業者へ委託して運営している。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行う。さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒やその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣している。令和2年度から令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少したが、授業に必要な日本語を習得するための「日本語学級」、外国人保護者との意思疎通等を行うための「通訳派遣」は、区の日本語教育において必要不可欠なため継続して実施していく。

「にほんごステップアップ教室」は、令和4年9月時点で定員数の40名を超えており、今後も日本語の初期指導が必要な児童・生徒について増加が見込まれる。

令和5年度の取組予定等

新型コロナウイルス感染症の影響が減少することにより、「にほんごステップアップ教室」及び「日本語学級」の利用者数の増加が見込まれる。

そのため、現在総合教育センターに設置している「にほんごステップアップ教室」に加え、令和5年度中に新たな教室の開室を目指す。

また、にほんごステップアップ教室や日本語学級に通室する児童・生徒の習熟を高めるための夏季講座を実施する。

事業費（令和5年度）： 66,295 千円

内訳①44,897 千円（にほんごステップアップ教室運営業務委託費）

②20,540 千円（日本語通訳派遣等謝礼）

② 858 千円（日本語学級運営等経費）